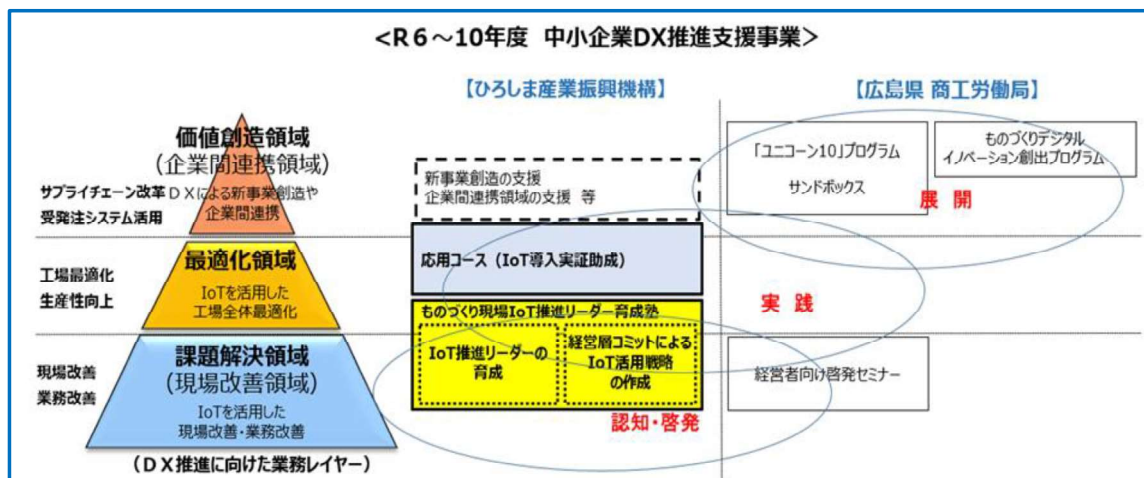


中小企業DX推進支援事業 2024年4月～2025年3月実施予定 ((公財)ひろしま産業振興機構)

【課題】

- AI、IoTなどのデジタル技術の導入は、イノベーションを加速させる重要な要素であり、ものづくり中小企業においても、取組が注目されている。
- 県内のIoT活用の設備投資の実施状況は、ものづくり中小企業で約26.3%にとどまっており、「人材が不足している」、「従業員の知識・理解が不足している」、「業務多忙で時間が取れない」、「投資対効果がわからない」等のデジタル化を取り巻く課題も浮き彫りになっている。

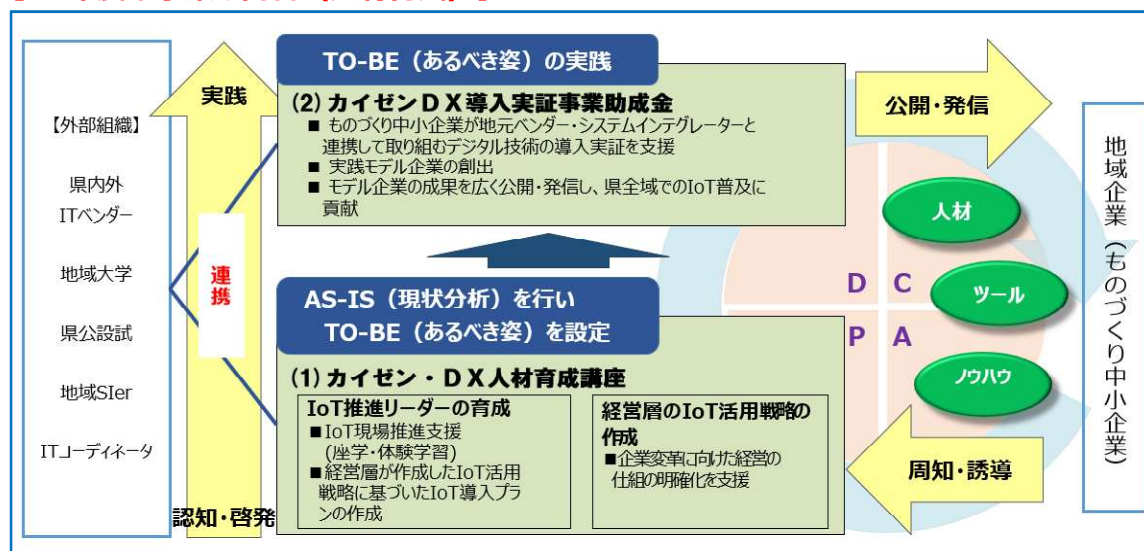
【中小企業DX推進支援事業】



【成果目標】

- 本事業を通じて、13件の実績を目指す。
 - ・カイゼン・DX人材育成講座：10名・社
 - ・カイゼンDX導入実証事業助成金：3件
- 各社のIoT活用戦略及びIoT導入プランの作成状況と、そのフォローアップとして作成後の達成状況（個別に設定された稼働率の向上、製造原価低減等）を見る。

【R6年度本事業の内容（人材育成）】



【目的】

- 「課題解決領域」から「最適化領域」のレイヤーにわたる一連の支援を県内の中核的な産業支援機関である本財団が主催して取り組むことで、ものづくり中小企業のIoT活用を促進。
- 以て、将来的な「価値創造領域」のレイヤーへの到達に寄与。

【都道府県の施策との連携・親和性】

- 広島県では、イノベーション立県の実現を施策ビジョンとして掲げており、その柱の一つとして、絶え間なくイノベーションが創出される環境・状況「イノベーション・エコシステム」の構築を目指している。
- 加えて、すべての施策を貫く視点としてDXの推進に取り組んでいる。

【波及効果】

- 各事業の成果報告の公開・発信により、触発され自発的なIoT推進のムーブメントを引き起こす。
- IoT活用したモデルケースを創出し、IoT導入企業の裾野を拡大する。
- 伴走する地元のITベンダー・Sierが、相互作用効果で機能拡大を図り、ビジネスとして個別展開化することにより、地元企業間の繋がりを構築し、IoT導入拡大につなげる。

【将来の支援目標】

- ものづくり中小企業の「価値創造領域」のレイヤーへの到達を支援する。
- デジタルデータを活用した、企業変革や新たなビジネス展開
- 企業間連携やサプライチェーンの改革
- 受発注マッチング・受発注決済の効率化 等

- カイゼン・DX人材育成講座において、DX推進のコアとなる人材を育成した上で、現状分析（AS-IS）を行うとともに、「経営層コミットによるIoT活用戦略」及び「IoT導入プラン」（あるべき姿（TO-BE））を作成
- カイゼンDX導入実証事業助成金であるべき姿（TO-BE）を実践
- 本事業の成果を地域のものづくり中小企業に公開・発信することにより、本事業への参加とIoTへの取組と促し、これら一連の事業のPDCAを回す